

令和 6 年度 第 2 回高等学校入学者選抜審議会 記録

令和 6 年 1 1 月 1 8 日（月）10：00～12：00
県庁 11 階 第二会議室

＜審議会委員＞

田端 健人 委員長、熊谷 龍一 副委員長（専門委員会委員長）、川嶋 輝彦 委員、佐藤 英 委員、伊藤 宣子 委員、菊池 晃子 委員、福田 元明 委員、猪股 智秋 委員、高橋 賢 委員、佐藤 智子 委員、中山 治彦 委員
（欠席：坪田 益美 委員、高橋 千香子 委員、志小田 美弘 委員、新妻 英敏 委員、勅使瓦 理恵 委員）

＜県教育委員会＞

遠藤 秀樹 副教育長、本田 史郎 義務教育課長、菊田 英孝 高校教育課長
（欠席：佐藤 靖彦 教育長）

事務局	（資料の確認） （公開の確認）
	（開会）
事務局	（委員の紹介）
副教育長	（副教育長あいさつ）
事務局	（県教育庁関係出席者紹介） （本会議の概要説明）
	（委員長 司会進行開始）
委員長	それでは次第に沿って進める。 初めに審議となる。 審議 1「令和 8 年度宮城県公立高等学校入学者選抜方針」について、事務局から説明願う。
事務局	（事務局より説明）
委員長	質問、意見があれば発言願う。
	（意見なし）
	特に意見が無いようなので、審議 2「令和 8 年度宮城県立高等学校入学者選抜日程」について、事務局から説明願う。
事務局	（事務局より説明）
委員長	受験生の受験機会の確保や公平公正かつ正確な入試事務処理を行うための日数の確保、第二次募集の出願に要する日数に加え、私学側から第一次募集の合格発表日が遅くならないようにとの要望も出されている。様々なことを考慮しながらも、受験生にとってより負担の少ない選抜日程を審議したい。御意見願う。
伊藤委員	令和 8 年度の入学者選抜日程については、曜日の関係上やむを得ない考える。私学側から考えると年度末は繁忙期であるが、令和 8 年度から入試の D X 化による変化に業務が慣れてくればより合理的に進むと思う。採点等も D X 化により時間的にも今までとは違う形になると希望を持ちながら、日程に関してはやむを得ないと考えている。
委員長	入試業務、入試採点の D X 化という点も今後検討し、より効率化を図っていくという点は、記録しておいていただきたい。他の委員はいかがか。
猪股委員	追試験を行う目的を考えた時には、やはり案 1 が良いと思う。合格発表日から金曜日を外すというのはとてもありがたい。子供と接していれば不安になっている子供のために土曜日、日曜日と出勤してくる可能性も高いので、働き方改革などの面からもやはり案 1 が一番落ち着くところと思う。
菊池委員	案 1 に賛成である。中学生には初めての受験であり、例えば、感染症に罹患した時

	の不安はかなり大きいと想定される。丁寧に指導することを考えると、案１のように、日程を確保している方が良い。
高橋（賢）委員	案１に賛成である。追試験の機会確保のためには、５日程度は日数を確保する必要があると思っている。２、３日だと、体調不良の中、無理して追試験を受ける生徒も出てくるという心配がある。 県立高校の立場から言えば、追試験が終わってから合格発表までの期間は、慎重にミスなく事務処理を行うべき期間である。採点業務を考えると、十分な日数を取っていただくことが大切だと思う。
佐藤（英）委員	案１がいいと思う。保護者の立場として、また子供たちの精神面を考えると、しっかりと５日間空いているのは、精神的負担を考えると十分な期間が設けられていると思う。また、案２、案３を見ると間が短い。
伊藤委員	日程とは違うが、意見を述べさせていただきたい。 ウェブ出願となると、受験者と保護者が、操作を適切に処理できることが大切である。宮城県内に私立高校が１９校あるが、それぞれのシステムでウェブ出願を行っている。学校法人が違うため、共通の業者をお願いすることがまだできていない。保護者と生徒にこのシステムについて十分に理解させる必要がある。 また、私立高校側もウェブ出願を展開するにあたって、相当慎重な審議をしている。宮城県の教育ＤＸ化により、出願に関して私立高校も公立高校も一本化できると良いと思う。
委員長	事務局からはいかがか。
高校教育課長	県では現在、教育ＤＸということで、入試にもデジタル採点やウェブ出願を導入する方向で、準備を進めている。受験生、保護者にしっかりと周知しながら進める必要があると考えている。トライアルサイトを来秋に開設し、事前に受験生も含めて練習できるような仕組みを今作ろうとしている。 実際に動かしてみないと分からない部分もあるが、できるだけトラブルがないように進めていきたいと考えている。
委員長	私学のウェブ出願も参考にしながら、できるだけ統一性があるようなウェブサイトの開設をお願いしたい。他に意見はないか。意見があれば発言願う。
	（意見なし）
委員長	以上の議論をふまえ、事務局案の案１でいかがか。
	（異議なし）
委員長	では令和８年度入学者選抜日程は諮問どおり答申することとする。休憩の後、「３ 答申」に移る。
	（休憩）
委員長	再開する。答申の準備はよろしいか。
事務局	（答申案配布）
委員長	では、答申文を確認した後、答申する。１つずつ確認したい。 まず、答申の鑑だがこちらでよろしいか。 （答申文の確認） （特になし） 次に、選抜方針について確認願う。資料１「審議関係資料」の２、３ページと配布された答申文を確認願う。選抜方針について、この文言でよろしいか。 （選抜方針の確認） （特になし） 選抜日程について、こちらでよろしいか。案１の日程である。 （選抜日程の確認） （特になし） それでは問題ないので、配布された答申案で答申する。 <答申鑑に押印> → [委員長及び副教育長移動]
委員長	（答申鑑読み上げ） → [委員長から副教育長に手渡し]
副教育長	（答申挨拶）

委員長	答申については、以上で終了する。 次に、次第の「４ 報告」に移る。資料２を御覧願う。報告１「令和７年度宮城県公立高等学校入学者選抜事務日程等」について、事務局から報告願う。
事務局	(事務局より説明)
委員長	質問、意見があれば発言願う。 (意見なし)
委員長	特に意見が無いようなので、報告２「高等学校入学者選抜審議会第２回専門委員会報告」について、事務局から説明願う。 (事務局より説明)
委員長	質問、意見があれば発言願う。 (意見なし)
委員長	i d e a l スクールについては期待が高まっている。その分、入試の形態で難しいところもあるかと思う。熊谷副委員長には専門委員会の委員長もしていただき、委員の方々には負担をかけるが、慎重な審議の上、魅力的な入試形態にしていきたいと思います。報告は以上とする。 続いて「その他」に移る。事務局の方で何か議題はあるか？ (事務局なし)
委員長	その他、委員から何かあるか。
福田委員	ウェブ出願の件で確認したい。 先ほど、公立学校と私立学校の一元化がなされるとなおいという話であったが、そのとおりだと思う。前回の会議で、ウェブ出願の導入によって、調査書の作成の扱い等について、デジタル庁の試算だと４３～５９％削減されると記載された資料をいただき、これが実現したら素晴らしいことだと思った。 このことについてだが、現在仙台市では共通の校務支援システムを使って調査書を作成している。宮城県の各市町村も調査書を作成する上で、それぞれの校務支援システムを使い、紙で印刷して提出しているわけだが、これが全てデジタルで出願するとなった時に、ミスなく正確に高校側に届くだろうか。 実際、各自治体で異なる校務支援システムを使っているが、不具合があったり調整が必要になったりして、逆に負担が増えることにならないか。今後、ウェブシステムを構築していくうえで、実際の各市町村の支援システムの状況についてもうすでに把握しているのか。
事務局	各自治体の状況については、この後詳細を問い合わせしていくことになる。現在の想定では、電子化したものをＣＳＶファイルで送ることができないかということのを第一に考えている。ただそこに対応できなかった場合に、例えばＰＤＦファイルの添付等にも対応できるようにする必要があるかと考えており、この後各自治体の対応状況も踏まえながらシステムにどう反映させていくか検討していきたい。
福田委員	入試事務に間違いがあってはならず、慣れるのには時間はかかると思うが、令和８年度入試からシステムとして機能しているものでなければならぬわけなので、ぜひ実際のシステムも十分に確認していただき、さらには業務効率化にも繋がっていくよう、しっかりと御検討をお願いしたい。
委員長	各自治体との接続の観点で、委員の方から他に意見はないか。 なければ、以上で本日の審議はこれまでとし、進行を事務局に戻す。
事務局	(閉会)